



町雑誌

千住

SENJI

保存版



特集

ゴクラクラク
千住の全銭湯19軒！

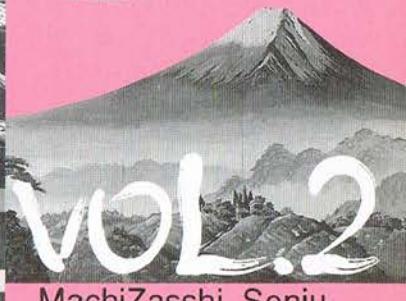
連載

千住明治の女伝
千住昔話

千住探険

ときわ通り・飲み横編

価格一百円



MachiZasshi Senju

何でまた銭湯ってえのはこうもめでたいものづくし
なんでえ？ ずらりと並ぶ縁起物を一周すれば運を
一挙に手にできそうじゃねえか。それもちょっと年
季の入った珍しいものの揃い。各銭湯の女将に由来な
ど聞いてみな。年末年始にこりやいいわい。



佐原浴泉 恵比寿様・大黒様・布袋様が三揃い



新橋湯 福寿の宝船

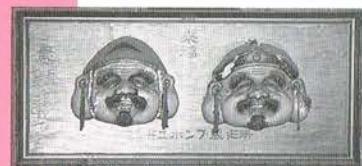
タカラ湯 これは立派七福神



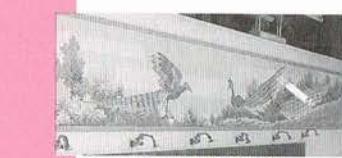
金乃湯 湯名に「金」、のれんに「銭」
とは懐あたたか



ニコニコ湯 改装前の鶴と松の懸魚がお出迎え



錦湯 福を呼ぶ！来福の面



旭湯 幸せを呼ぶ孔雀の舞



梅月湯 二葉山直筆の「不動心」

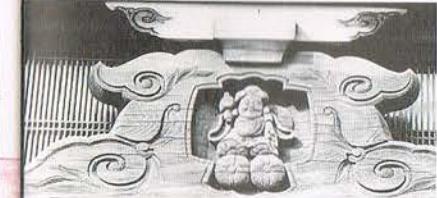
こりやめでたり 銭湯めぐりは

縁 起

隅 田

小桜湯 すりガラスにりりしい神々

千寿泉 長生きできそう「千寿」の入口



大黒湯 屋根の上で大黒様がにっこり



梅の湯 まねきねこ

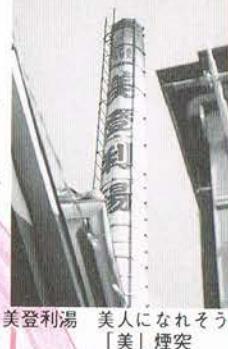


千代の湯 珍しい赤富士の絵



梅乃湯 元気いっぱい
鯉の滝登り

か りのわい



美登利湯 美人になれそう
「美」煙突



帝国湯 観音様と布袋様



弁天湯 中も外も弁天様



松の湯 天井まで登る鯉の滝登り

裏表紙にクイズラリーもあるのでそちらもあわせて回つてね！



梅乃湯

レトロな
タイル絵で
鮮やかな
鯉が滝登り



日本めぐら湯

さすが銭湯のメツカ千住ならでは。ある部分で日本唯一、日本代表を名乗れる個性的、豪華風呂がぞろぞろ。



威風堂々。日本の
銭湯建築を代表する

大黒湯

銭湯1350軒を巡った銭湯研究家の町田忍氏をして、日本の「キングオブ銭湯」と言わせたのがココ。昭和4年築の唐破風と千鳥破風が二重になった堂々たる屋根、脱衣場の高い格天井の104枚の板に描かれた花鳥風月の絵、東京の平均的銭湯の1.5倍はある浴場。サウナもあり、露天風呂も広く気持ちよい。●千住寿町 32-6 ●3881-3001 ●3時~12時 ●月休



千代の湯

路地の突き当たり。
のれんをくぐると何やら情緒た
っぷりのBGM。
すっかり温泉気

分を高めつつ口場へ急ぐと、でんとめ

でたい朝日を浴

びる赤富士。東京の銭湯でも珍

しい。男湯の庭

で親父さんが趣

味で育てる大き

な鯉も逸品。話

し好きの親父さ

んに聞けば、ン百万ともいう鯉の秘密も聞

けるかも。お湯も鉄分など多い体に良い井

戸水だとか。●千住3-43 ●3881-5709 ●3時

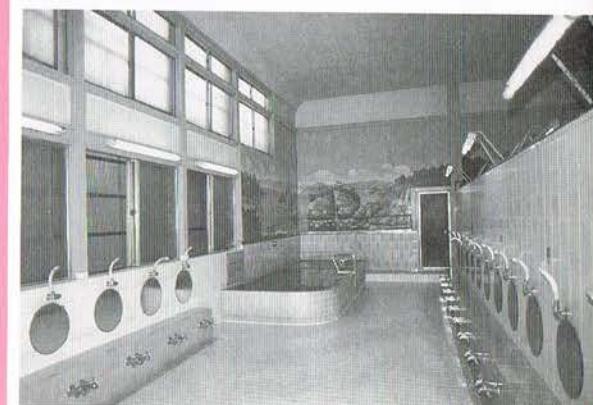
~12時半 ●土休

千寿泉

珍しい！江戸の町割 そのままの細長銭湯



昔、旧日光街道沿いの家は間口の広さで分担金を払ったため、間口が狭く奥に長い町割だった。当時の敷地をそのまま使った千寿泉は銭湯では他にまず例を見ない造り。間口が4間（7m強）しかないのに玄関からフロアの奥まで何と13間（24m弱）もある細長型。湯舟も奥に長い。この字型にわたるベンキ絵も貴重。東北の温泉場を思わせ、気持ちいい！●千住河原町26-3 ●3881-5712 ●4時~12時 ●土休



●銭湯か、歌舞伎座か、はたまた寺か？●

はじめて歌舞伎座を見た人が「いやあ、さすが東京の銭湯は規模が違うねえ！」と言った、という話を聞いたことがある。それほど東京の銭湯はお寺のような『宮造り』のイメージが強い。江戸の昔からこのような建造物だった印象があるが、実は関東大震災以降の事なのだ。復興時に、ある大工の棟梁のアイデアで初めての宮造りの銭湯が生まれた。その豪華な造りが人気を呼び、都内及び近郊に広がっていった。このようにして生まれた『宮造り』だが、寺院風というには、意外とその本道から外れていないのだ。お風呂の歴史を紐解くと、奈良時代の『施浴』にたどり着く。それはいわゆるお寺の慈善事業で、まだ入浴の習慣がなかった一般の民に仏法を広げると共に入浴を施していたらしい。『浴仏功德経』といった類の仏典まであったほどだ。そこには、入浴によって七病を除き七福を得ると説いている。千住の銭湯にも大黒様や弁天様の名前が見られる。きっと現在の我々も『施浴』の功德を得ているに違いない。



よくぞ守った、これだけの庭と池

昭和12年築の堂々たる宮造りの構えだ。男湯の広く豪華な庭と池は日本一と評する人も。湯あがりに四季おりおりの花が楽しめる。体長60cmもの立派な鯉も見もの。一方女湯は、庭の小さい分脱衣場が広く明るく、快適度抜群。湯上がりのひとときに幸せをくれる銭湯だ。また実母散の薬湯、ラジウム風呂の他、女湯のフィンランドサウナもうれしい。●千住元町27-1 ●3881-2660 ●3時~12時 ●金休

弁天湯

弁天様が見守る ぬくもりの湯



弁天湯のシンボルは、優しい御顔の木彫りの弁天様。銭湯の隣にある徳川時代からの弁天様のはこらにちなんで、創業時に作った由緒正しいもの。男女とも脱衣所に日本庭園あり。陸中海岸が描かれたベンキ絵を見ながら湯船につかればまさに極楽気分。あまりの気持ちよさについつい長居をしてしまう人が続出とか。風呂上がりには、目の前にあるおでん屋さんがおすすめ。●千住旭町15-13 ●3882-9726 ●3時半~11時半 ●月3回不定休





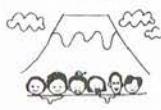
緑湯

唐破風&
千鳥破風の
昔ながらの
銭湯



墨堤通りに面し教習所に隣接。堂々とした門構えから側面の姿まで通りからよく見える珍しい立地。緑湯の名にちなんで入口に使われた緑のタイルがレトロで美しい。柱や壁、体重計などの小道具まで建築当時の面影を残す。またベンキ絵と昔からのモザイクタイル絵のコンビネーションが美しい。蛇口とシャワー口のデザインもレトロ。

●千住緑町3-28-1 ●3888-9564 ●4時~11時 ●不定休



佐原浴泉

低いカラント台、
見通しよい
くつろげる銭湯



千鳥破風にピンク色の板のあしらいが、女性的で色っぽい外観。脱衣場といい、洗い場といい、昔のままの風情が心温めてくれる。まん中のカラント台も低く見晴らしよく、広々と清潔な洗い場が快適でのんびりでき、銭湯に来た醍醐味を味わえる。間仕切のモザイクタイル絵に緑が絡んで南国情緒もちっぽり。●千住元町22-10 ●3881-2695 ●2時半~11時 ●月休(月2・3回)



ケロリンの秘密を知ってるかい?



銭湯の頑丈なプラスチックの黄色い桶の底に、頭痛薬「ケロリン」の広告がついてたのを覚えてる? 千住で今もケロリン桶に会えるのはタカラ湯、千代の湯、梅乃湯、緑湯、帝国湯、松の湯、小桜湯、また大黒湯、新橋湯には銭湯名入りオリジナルバージョンが存在する。

プラスチックの風呂桶に広告を、というアイデアを提案したのは、当時20代前半の東京は睦和商事の社長、それを受けたのがケロリンの会社「内外薬品」だったというわけ。昭和38年のこと。製品名に垢が付くと何百社もに断わられたにもかかわらず、ケロリンの桶は大いに受け、全国へ広がった。常識にとらわれない睦和商事と内外製薬の出会いがあったからこそ今がある。

昔は時々白いケロリンの桶があって子供客の間では熾烈な争奪戦があったものだが、「白」は今や相当貴重な旧バージョンらしい。見つけた方はぜひ一報を…。レトロブームの近ごろは東急ハンズなどでもケロリンの桶が買えるゾ。



旭湯

タイル使いのきれいな銭湯
日替り湯にわくわく

「桃の湯」と入口に書いてある。入浴剤が日替りで毎日違う広々した湯を楽しめる。この日は桃色の温かそうな湯舟だった。フロ場のモザイクタイル絵は湯舟から高い天井までひとつの仕切もないダイナミックさでどーんと迫る。見事。また湯舟のタイルは趣があり、他の壁面にもタイルが美しく配置される。4号線に近く駐車場もある。●千住宮元町13-10 ●3881-2277 ●3時~11時 ●土休

レトロの湯

じも木ッ十

木の匂いのする
ほのぼののレトロの湯

路地奥の、落ち着いた佇まいの昔ながらのお風呂屋さん。ほんわり木の匂いがする広い脱衣場の天窓から光が入る。男湯には池や大岩を配した中庭を見渡す縁台が。まるで山奥の温泉に来たみたいだ。夕陽の残るうちに楽しんでみたいお湯。洗い場の低いカラントもレトロでかわいい。冬は薬湯あり。●千住5-5-10 ●3888-3356 ●4時~11時半 ●不定休



梅の湯

梅月湯

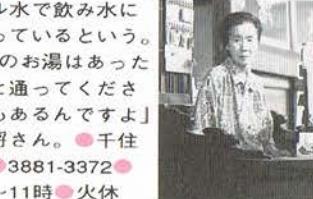
使い込まれた木目が懐かしく心地よい



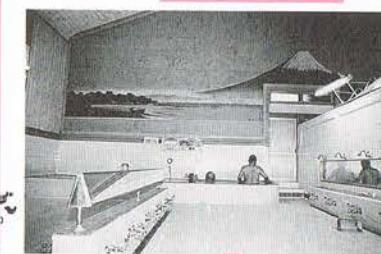
柱も高い天井も番台も庭に臨む大きなガラス戸の木枠も、昭和33年からよく手入れされ続けた質のいい木の肌がつやつや気持いい。木のロッカーは珍しい。人の気持ちを和ませる、これぞ日本の懐かしき良き空間。フロ場の方も昭和61年のベンキ絵がそのまま残っていて興味深い。としまえんがスポンサーとなつて描かれた、洋風の遊園地の図案はユニーク。●千住河原町6-2 ●3881-3511 ●3時半~11時半 ●月休



千住らしい、煉瓦づくりの堀を残す路地奥の銭湯。昭和31年の建て替え以来大きく内装も変えておらず懐かしさ満点。タイルづかいも古びてシミが年月を刻んでいる。300mの深い井戸から汲み上げる水は質のいいミネラル水で飲み水にも使っているという。「うちのお湯はあったまると通ってくださる方もあるんですよ」と女将さん。●千住2-51 ●3881-3372 ●3時~11時 ●火休



新橋湯



元祖
らし
い
銭湯
発見

でんと構える唐破風屋根をくぐる。「いらっしゃい」…番台のオバさんは赤ちゃんをあやしながらひととき入浴中のおかあさんがわり。高い格天井の下、脱衣場で涼む先人たち。男女浴室をまたぐ、でっかい富士山の裾野がなだらかに広がる。キモチイイ。いい気分で外へ出ると、目の前にラーメン屋。
こうあるべし! ●千住大川町13-11 ●3881-2640 ●3時~12時 ●金休

帝国湯

昔のままの情景 時を刻む銭湯



美登利湯

駅すぐの商店街のなかにある、千鳥破風屋根の正統派の銭湯。「脱衣所にロッカーがあるのは、昔は男湯だけで、女湯に脱衣カゴが多いのはその名残り」と語る物知りのご主人は3代目。フロ場のベンキ絵は年に1回塗りかえて、いまは男女浴室をまたぐ雄大な富士山だ。毎週日曜日にある朝湯を楽しみにしているお客様も多い。帰り道にふと立ち寄りたくなる銭湯だ。

●千住旭町25-11 ●3881-6626 ●4時～11時半 ●火休

番外！

西新井橋をこえて
竹の湯で一杯！？



早い時間には、おじさんでなくこんなかわいい母子連れが夕食を食べていたり…

千住からちょっと足を伸ばせば行ける魅惑の銭湯発見。広い露天風呂、電気風呂、サウナ、漢方薬湯などのバラエティに富んだお風呂もさることながら、2階に何と広々とした居酒屋がある！玄関で靴を脱いでから一風呂浴びてさっぱりしたそのままの足で、靴も履かずに一杯やれる！うーむ。やってくれるねえ。フロ上りの一杯が何より幸せだってこと、よくよくご承知でいらっしゃる。

●関原1-9-13 ●3887-1501 ●3時～12時（2階は5時～11時） ●第2・4火休

銭湯みたいな甘味どころ
あちこちや

「大正時代から南千住で店を開き、北千住駅前に来たのも昭和23年。下町の古い店ですからそのイメージを伝えるために…」銭湯みたいに内装したのだという。鍵付の下駄箱、鯉のタイル絵、テーブルや椅子にもタイルやあめ色

の木目を使ってまさに雰囲気満点！銭湯帰りにここでクリームソーダはいかが？自慢焼やおでんも美味。

●千住2-61-3881-7644 ●朝11時半～夜8時 ●月休（祝日の場合火）

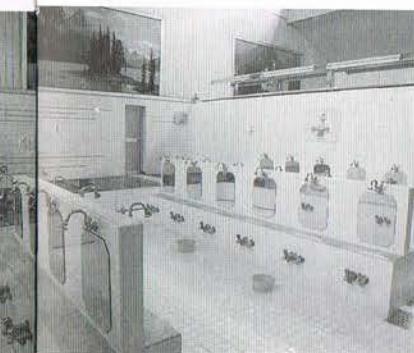
週1回、朝湯がある



わくわくの湯



遊び心いっぱい、銭湯は楽しむべし！やさウナ、朝湯に露天風呂、さらに絵の楽しい銭湯など。これは楽しめる！



松の湯

からだの芯からあたたまる
美人の湯



赤い外壁のマンションの一階、フロント形式の近代的な銭湯。フロ場に入ると正面にタイル絵。いまにも動きだしそうな鯉の滝上りが迫ってくる。特徴は、気泡に超音波、座風呂など湯船の種類が豊富なこと。サウナ風呂は、600円の別料金。原塙を入れたご主人特製のお湯は、からだの中からあつたまるし、肌はしっとりとしてくる銭湯美人製造の湯だ。挑戦されたし。

●柳原1-24-8
●3881-3995 ●3時半～11時半 ●不定休

小桜湯



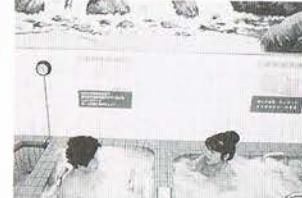
カラフルなつかし豆タイルづくしの湯

一見ただのマンション。がなんと2階が銭湯。フロ場に入ると、ワ・ツッ！前面でへんと構えるしなやかな天女達は豆タイルの絵。そして側面のマンションの絵タイルは類を見ない絶品だ。オバQやアトムが飛び回ってる！湯舟の底には鯉。さらに豆タイルを張り詰めたカラフルなサウナ部屋が心ときめかせる。日曜日には朝湯あり。

●千住仲町27-13 ●3888-4085 ●3時半～12時半 ●第2・4月休

ニコニコ湯

アイディア一杯
「幕の内」銭湯



男湯と女湯が日替わりのユニークなシステム。というのも大小の浴槽を設置し作ったクアハウス調（向って右）と温泉調（左）の浴室を男女の別なく楽しんでいただくため。お子様用のミニミニプールは隠れ家みたいで冒険心をそそる。美容にいい塩のサウナは200円で、女性に人気。日替わりの薬湯は8種類とバリエーション豊富。

●千住柳町2-10 ●3882-6645 ●3時～深夜1時 ●木休

金乃湯



きれいな銭湯
路地奥の

大和湯

見つけた！
三代女系で
頑張る銭湯



3年前に改装したばかりでビカビカの内装は何より快適。脱衣場には、お屋敷の外壁を思わせる瓦屋根のインテリア。さて。気持ちがいいのはまず日替わりの薬湯だ。効能も書かれているし香りもいいし、何といってもゆったり足を伸ばせる広い浴槽がGOOD。さらに明るい時間の露天風呂はサイコー！サウナも400円で入れる。●千住柳町36-8 ●3881-5869 ●3時～12時 ●第2・4水休



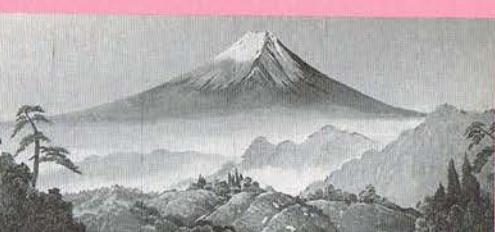
●千代の湯 ● 他では見られぬ赤富士



●佐原浴泉 ● 富士山が大きく見える



●梅月湯 ● 珍しい遊園地の絵



●大黒湯 ● 二面に分かれる8間の絵



東京に4人しかいない
銭湯のペンキ絵師

早川利光さん

昨夜11時に富士山を眺めて湯につかった。で、今日4時に早風呂に来たら、富士山はあとかたもなく、勝浦に舟が浮いていた！ 銭湯好きの方なら一度は経験のある魔訶不思議だろう。そんな芸当をやってのける銭湯の手品師のひとり、早川さん。早川さん自身も、生まれた福島の銭湯で、雄大なキャンバスが一夜にして塗り替えられる筆のマジックに魅せられ、この世界に入った。17のときである。しかし、「見るとやるでは大違いでしたよ」

3年間は空ばかり描かされ、ようやく自分で初めて描いたのが富士山。ところが師匠からは一喝される。

「お前何描いたんだ！」

これが富士山に見えるかと言われ、夢に燃える若者の自尊心はボキンとへし折られる。その、唇をかむ悔しさがすべての原点となった。「よーし、見てろ…」

実は富士山は、一番簡単に見えて一番難しい題材なのだという。日本の代名詞とも言えるこの富士山が、結局は早川青年をここまで育て上げた。

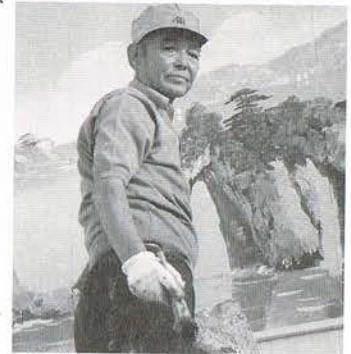
東京周辺でしかお目にかかりにくい銭湯のペンキ絵。絵師の担当エリアはおおよそ分かれている。千住の銭湯はほとんど早川さんが担当している。各地を回る早川さんによると、千住の金乃湯と大黒湯のペンキ絵の大きさは千数百軒ある東京の銭湯の中でも5本指に入るという。つまり日本の中でも有数だろう。早川さんの自信作が多いという千住の銭湯の絵をこの機会に見に行こう。



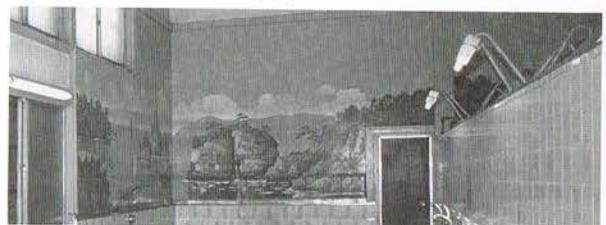
●帝國湯 ● 昔のままの絵に胸キュン



●金の湯 ● 高位置で描くのが難しい



パンパンパンパンパンッ！ ハケをトタンのキャンバスに打ちつけるダイナミックなハケさばき。1996年10月16日、金乃湯で。富士山が勝浦と陸中海岸に変わった。



●千寿泉 ● 二面続く絵は大珍しい

銭湯の絵

ペンキ絵・モザイクタイル絵



●新橋湯 ● なだらかな裾野が美しい



●弁天湯 ● 立体感があふれリアル



●梅の湯 ● 爽やか…



●旭湯 ● ダイナミック！



●大和湯 ● パネル絵だ



●ニコニコ湯 ● のどかな気分になれる



●梅乃湯 ● 入念な筆づかい



●緑湯 ● 水しぶきが飛んで来そう



●松の湯 ● ど迫力！



●小桜湯 ● お見事！



銭湯と10倍楽しむ方法

銭湯の秘密・おもしろDATA



● 洗濯を取って済んで1時間、370円は安い！

● 銭湯の入浴料は当然物価上昇とともに値上がりしてきた。明治20年の入浴料は1銭3厘、明治21年のコーヒーは1銭5厘と近い。で、現在銭湯は370円、コーヒーは350円~600円くらい。コーヒーの方がやや上昇率が高いといえそう。一方国鉄（JR）入場券は明治30年2銭で現在120円と比較的の上昇率は低い。明治12年の家賃（板橋区・一戸建て）は8銭。明治5年の入浴料は1銭5厘。少し時差はあるが家賃は銭湯代のたった5.3倍。家賃が安かったのか銭湯が高かったのか（家賃の方だと思うけど）。今や200倍、300倍の世界。家賃の物価上昇率を思えば銭湯代の何と安いこと！

● 昔の銭湯にはそんなに人がいたの？

ご両親が昔銭湯を経営していたという中西佐敏さん（千住大川町・68才）に、当時の話を聞いた。「戦前は女中さんが3~4人いましたよ。番台にも座ったし、下足番（ぞうりを預かって鍵を手渡した）をしたり、またお母さんがフロに入る間の赤ちゃんの世話をしたりしていました。それから我々は番頭さんと呼んでいましたが男性が一人いて、釜焚きやサンスケをしていました。サンスケっていうのはお客様の要望で背中を流したりマッサージしたりする仕事で、パンパンパンパンって肩をたたく音がワロ場に響いていましたよ。」女湯にも男のサンスケさんが呼ばれたというのは意外な感じ。でも気持ちはよさそう。もちろん全員住み込みだったという。昔の銭湯ってずいぶん賑やかな大所帯だったんですね。



● 預かりロッカー知ってる？

江戸時代には「留桶」といって、入浴料金とは別に料金を払って自分専用の桶をキープしてくれるシステムがあった。江戸っ子は手拭い一本で湯屋に通うのが粹、という風俗に応えたものか、この「留桶」上方にはない江戸独特のサーサンツーを預かってくれるところもある。中には預かり無料のところも。さらに大黒湯の男湯、小桜湯では置いていたタオルをお店の好意で洗ってくれている。帝国湯ではロッカー300円程度で入浴に必要な石けんやシャンプーを預かってくれるところがある。中には預かり無料のところも。さらに大黒湯の男湯、小桜湯では置いていたタオルをお店の好意で洗ってくれている。帝国湯ではロッカー300円で無料貸タオル（洗濯付）サービスもある。

● 銭湯は鍵までもめでたいのだ

お風呂屋さんでしか見かけることの無くなった物が、たくさんあります。その中の一つが下足箱と下足札。都内で使われている下足箱の鍵の3大メーカーは、さくら・松竹・おしどり。今回調べた銭湯の中で1軒だけ、東京では珍しい鶴亀銭がありました。どこかは秘密。君も銭湯探検してみては？



● ピン牛乳は清く正しく腰に手を当て飲もう！

銭湯での湯上がりの「お約束」といえばなつかしい定番、ピンの牛乳。銭湯に必ずと言っていいほど飲み物が用意されているのにはお風呂上がりに不足した血液の水分を補うという科学的な合理性がある。さらに牛乳はカルシウムも補い、睡眠を促す。熱いお湯で冴えた目も、自然と眠りにつけるというワケ。ちなみに牛乳などのピンの飲み物があるのは、千住の銭湯19軒中16軒。メーカーは明治がダントツ10軒、ついで全酪5軒、森永1軒。



● 銭湯の庭はちょっと違う

東京の銭湯の豪華さは日本一。その一つが庭。千住っ子は恵まれている。なぜなら千住には庭のある銭湯が多く、さらに、おそらく銭湯では日本一といわれる庭が千住にあるからだ。銭湯の宮造りと同様に、立派な庭のある銭湯を、地方で見かけることは少ない。その様式はいわゆる日本庭園と違い、火山岩が豊富に使われていたり、必ず池があったりと、独自の世界を持っている。もう「銭湯様式」といっても過言ではない！



● 風呂敷のはなし

奈良時代、入浴の目的は心身を清めることであり、温堂（蒸し風呂）は寺院にあるものだった。ここではまず、布を広げその上で、座って服を脱ぎ白い衣をつけてから沐浴したのだという。この「風呂」で「敷」く布から始まるというのが一説。いざれにせよもともと風呂敷はその名通り「包む」ものでなく「敷く」ものだったに違いない。



● お湯はどうやってあっためる？

家のフロなら大概はガスが燃料だが銭湯ではいかに？ 佐原浴泉などの裏を通ると、マキがどんと積まれた風景に出会う。取り壊された建築の廃材などを無駄なく使う、まさに元祖廃物利用リサイクル生活。この他、銭湯では重油などが燃料となる。千住の銭湯では★マキだけ使用4軒★マキ・重油併用9軒★重油のみ6軒



● 間違つたフリして、逆に入るなんて見え透いたことはやめようね

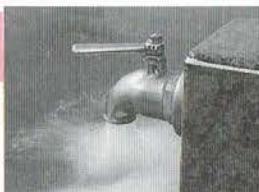
日頃行かないう銭湯に出かけ、いつも通り右側に入ったらそこにはあらぬものが…ギャーッ。なんてヘマ（故意？）をやらかしたことはない？ どちらに男湯、女湯を配置するかは各銭湯の自由なのだ。千住では★女湯左男湯右11軒★女湯右男湯左7軒★日替り1軒



● 流しっぱなしの

お湯の秘密

ザザーッ。いつも湯舟からあふれるお湯は、銭湯ならではの魅力。銭湯のお湯は



ほとんどが井戸水だって知ってる？ ちなみに千住の銭湯19軒のうち、井戸水オンリーのところが13軒、水道水併用のところが5軒、水道水だけのところはたった1軒。井戸水は自然の水だ。鉱泉に近い鉱物質を多く含む質の良い水も多く、銭湯好きに長生きが多いのもうなづける。さらに、都内の銭湯の井戸水は、大災害時の貴重な水源としても期待されているという。実際、「昭和30年代の水害の時、提供しました。ご近所の方がズラーッと並んでね」（帝国湯女将）という話も聞いた。



● 銭湯といえば番台？

昨今、番台がフロントに変わることが多く、銭湯好きにはちと寂しい面もあるが、千住ではまだ番台が健在！ 番台さがしの旅も一興では？ 千住では★番台13軒★フロント6軒

● 銭湯は受験生の味方

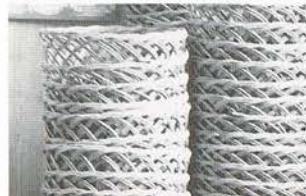
実証データがある。リラックスしたとき出る脳波α派は、大浴槽の方が明らかに高い。α派は、心を安定させ脳の働きを活発にしている。

α派の出ている脳の特徴は、創造力、記憶力が抜群、仕事や勉強の能率があがること。受験生、イライラしがちな人はお試しあれ。（データ参考・「1010」第11・12号北海道大学医学部阿岸祐幸教授による実験）



● 風流。天井の扇風機

銭湯らしさいっぽいの、天井から下がった大きな扇風機。番台で操作するこのタイプは番台のフロント化と共に姿を消している。新タイプとしては四面に羽の付いた360度に送風可能な変わり種も出現。天井型があるのは千住の19軒中7軒。



仲乃軒

千住仲町22-11

昭和初期築のレトロで粋な洋風の建物。名前のマークも「脱衣場にもペンキ絵があつて趣あるいい銭湯だった」と絵師の早川さん。95年末廃業。



小橋湯

千住1-23-12

昔ながらの風情ある建物は注目度高く、ここを舞台とした歌合戦などがテレビで企画、放映されたこともあったとか。90年廃業。

相馬湯

千住大川町19-4

「カラムの取っ手が彫りのある真鍮だったんですよ。今じゃ珍しいでしょ」とおうちの方が話してくださいました。玄関にあった大きなザクロも趣があった。92年廃業。



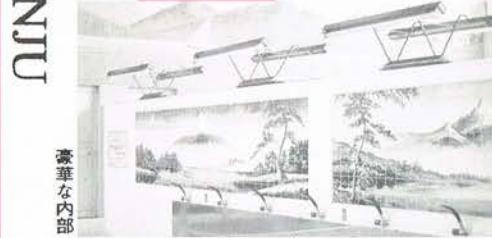
あの頃の銭湯

SENU

SENJU

子宝湯

千住元町3-9



昭和4年の建物。昔の色街のそばにあり、大型の唐破風、玄関上の七福神の彫刻など、贅を尽くした造り。東京の銭湯を代表するとして、89年廃業後、江戸東京たてもの園に移築されたため今も見れる。千住の銭湯が江戸東京の代表になったとくりやあ見に行くべきやない！

▼江戸東京たてもの園〒184小金井市桜町3-7-1
(都立小金井公園内) TEL0423-88-3300



婿取り細うで3代繁盛記（大和湯）

七〇 people

99歳になる森

山たみさ

ん娘さ

んの公恵さん

に、お孫さんの悦子さ

ん。揃いも揃つた美人ばかりの

女系家族によつて大和湯はきりもり

されている。「小さなころから、私

はここを繼ぐんだって、自然に思つ

てましたね」と語る悦子さんは千

住銭湯界の最年少28歳。いつたんは

証券会社に勤めたが、ちやつか

りだんな様を射止めて帰つてしまつた。しかもこれまた美男子。長

男将太郎くんは、まさに半世紀

ぶりの男の子になる。この子が將

來どうなるのか。大和湯初の主人誕

生となるのか。若干1歳5ヶ月の彼

は、無邪気に「野球選手になりたい」とのたまうのであつた。



の娘さん、悦子さんは、無邪気に「野球選手になりたい」とのたまうのであつた。

チンドンやって半世紀。銭湯大好きおばあちゃん

石橋ミチさん(91歳)

「大きくて、きれいで、気持ちよくのんびりできる銭湯が大好き」と語る石橋ミチさんは、松の湯の一番風呂の常連さん。千住に住んで70年。今年92歳になるおばあちゃんは、74歳まで現役のチンドン屋さんとして、全国を渡り歩いた強者。もちろん松の湯より千住歴が長い。うれしかったことは、松の湯の改革のときに、娘さん夫婦と一緒にチンドンをやつしたこと。長年の足腰の疲れが最近できているが、この気泡風呂につかれば痛みが和らいで楽になる。それにみんなに会えて、一石二鳥。毎日欠かさず通う理由がここにある。一人暮らしのミチさんの周りには、



大熊久美男さん
(51才)

は千寿第三小学校の用務員。夕方からは何を隠

そう銭湯探偵。タオル一本でどこへでも出かけていく。1日に3・4軒回ることもある。千住の19軒はとうの昔、今は足立区内

の銭湯征服にチャレンジ中。とにかく好きなのだ。好きがたたつて同じ銭湯に何日も通うため、征服にはもう少し時間がかかりそう。

何かと世話をやくご近所のお母さんたちがいつもいて、まるで大家族のよう。人を笑わすのが何よりも大好きなミチさん。銭湯を元気の素に、とっても素敵なお顔でご近所のアイドルとしてますますパワフルなのである。



ふたつの顔を持つ男

「千住の人ってガラッぱちでしょ。話してると面白いんですよ、とにかく…」大熊さんにとって銭湯は情報収集基地でもある。銭湯では知らない人とも話ができる。飲み屋情報も銭湯で仕入れる。「僕はプロの後はこっちのほうで…」と、手振りはちょっときめつ。軽く飲んで家路につく。働き者で明るくて、見ているだけで幸せになれるいい男。汗を流してでつかい湯舟でひと風呂浴びて一杯、とはこれぞ正しき日本人！？



千住 明治の女伝

今が楽しい現役遊び人
過去は過去。

千住大川町 中沢サワさん 86才

「次何して遊ぶか考えるのに忙しくて、昔のことなんて思い出してられないわよ。」
今が一番楽しいといふやつさん。生まれ故郷より千住が好きで、千住の仲間は友達を超えて「兄弟みたい」。

「お腹すいたら誘い合わせてすぐ何か食べに行つたりね。」
現代っ子のノリ。一方、昔の話に口が重いのは、「苦労してるから」(嫁のかつ代さん)というのが正解なかも知れない。

見合いして23で結婚したのが新聞記者の夫、中沢氏。「銭湯でネタを仕入れてくるように言っていた」とせつせとフロ場の話題を夫に報告した若い記者の妻の頃。言葉の端々に仕事に邁進する夫を愛おしむ気持ちが見える。しかし昭和12年、

わずか4年で死に別れる。「戦争に翻弄されたのよ、私たち」

乳飲み子を抱え、和裁、また当時は珍しい洋裁の腕を生かして働いた。洋裁ができたので、戦争中は傷痍軍人の白衣を縫つて生計を立てたという。時間がなく、長屋を借りて千住に移ってきた。「何でも安く、こんないいところなかつたわよ」:そのうち、一緒に暮らしあじめたひととの間に2児をもうける。そのひとも今はもういない。

戦後は、當時まだ珍しかった生命保険の会社の外交となり、約20年勤めた。保険業界がのびていく勢いにつれて、まわりの応援を受け上司にかわいがられてメキメキ成績を上げたという。女性の弱い時代(?)のこと、セクハラなんて目には?

「上司(男)よりも強かつたわよ。人より劣つてるのが嫌いでね、水戸黄門なんて言われてたのよ。誰かに何か言われると、じゃあ掛けしようか、とか言つてね。仕事というより遊びだね。」

負けん気が強く、自分の手で収入を得て生きてきた。そのせいで、今も少なくない年金を手にできているという。ダンナ殿の話になると、「オトコは働いてカネ持つて来りやいいんだから」と、威勢のいいタンカを切つて笑わせてくれる。「ギラク」にやつてきただけよ」と言いつつ自分の足で生きてきた自信がある。

しかし、戦争中を生きたすべての女性がそうであったように、自分が選びとった生き方でないある意味で時代に押しつけられぬがめられた運命。その運命を前にして、彼女が示した精一杯の抵抗が、初めて愛したひとの姓を今も名乗る彼女の生き方に表れているように思えた。(96/10/1 取材)



29才の頃



下川又三さんにお話を
お聞きしました。

「大橋が木造だった頃の杭がたくさん川底に残っていて、舟や子供の足をとることが多かったんだろうと思います」

千住昔話 —かめぬま—



今では耳にすることもなくなりましたが…。

「芭蕉旅立ち千住の橋戸、奥の細道第一歩」(千住甚句)でも有名な千住の橋戸から隅田川にかかるあの千住大橋の真下あたりは「亀沼」と呼ばれていた。子供たちは決してここでは泳ぐなど厳しく言われたものだった。なぜならここには、甲羅に杖を突き刺した大きな亀があり、通る舟をひっくり返して人を食うという。事実ここでは、よく事故が起きた。

話は昔にさかのぼる。あるお坊さまが杖を持って旅していた。千住大橋のたもとで舟を待つ間昼寝をしていたら、ふと気がつくと舟が出ようとしている

る! あわてて飛び乗り、それから気付いた。杖で土に亀を描いたのだ。「消すのを忘れた。引き返してくれ!」…叫んではみたが船頭は「そんな馬鹿なことはできねえ」と一笑のもと。仕方なくお坊さまは「おまえはそこにじっとしておれよ」と亀に向って杖を投げた。杖は甲羅に命中した。だが間もなく絵は本物の亀となり泳ぎ始め、やがてここに棲みついた…

描いた亀が動き出すなど神通力のなせる技。するとお坊さまは弘法大師さまだったに違いない、というのがもっぱらの人々の噂だったという。



昭和30年代
夜の四号線

フランク永井の唄、夜霧の第二国道、それほどロマンチックではないが、この写真は拡幅前の四号線で、夜ともなるとさすがに昼間ほどの混雑もなくなる。しかし帰りを急ぐ事は當時も現在も変わらない。都電の線路が光りを妖しく残しているのが、ヨーロッパの何処かの国の街路風景に見える。当時はオリンピック景気、高度経済成長の絶頂期でもあり夢の多い時代でもあった。しかし四号線は、草加、谷塚への道で分かれ悲しみの道でもあった。また幾多の恋の逃避行もあったことと思う。千住新橋を渡ればそこはもう田園風景で、何かホッとする安堵感のある風景があった。立派な街路樹がより明るく、道は拡幅されて拡くなりモータリゼーションの時代は便利と快適のあまり夜景は昔のような静けさや夢の想像の湧くようなものではなくなった。

郷土写真家 石坂 滉



第12回 暮れ六つのまち幻燈館千住編 銭湯で遊ぼうの巻

江戸の昔、銭湯の2階では将棋もしたそう。現代の「銭湯」にも遊びに来ませんか? 今回の幻燈会は、千住の名物おじさんの、ハラハラドキドキ、海の向こうの旅のおはなしです。

とき 1997年1月25日(土)
5時~・6時~・7時~・8時~(無料)
ところ タカラ湯 千住元町27-1 3881-2660
主催 マチアルキテクト
問合せ先 上嶋TEL03-3323-3401
(BYA04763@niftyserve.or.jp)
協力 町雑誌千住

『銭湯へ行こう・旅情編』
町田忍著(TOTO出版) 1300円

お願い！ その1 千住応援会員になって！

町雑誌千住は、千住・町・元気・探険隊が母体となって発行されていますが、現在皆さんのご厚意とメンバーの出資とボランティアによって成り立っています。千住を愛する皆さんにも、ぜひ応援していただきたいのです。

●購読応援会員 年間3千円（各号2冊・送料、手数料、カンパ込み）

●親しい方おひとりに1冊さしあげてくださる応援会員

●となり組応援会員 年間6千円（各号4冊・送料、手数料、カンパ込み）

●お隣の方など3人にさしあげてくださる応援団員

●心意気応援会員 年間1万円（各号5冊・送料、手数料、カンパ込み）

●千住のためなら！ などなどどんな理由でも歓迎！



●心意気応援会員は紙面でお名前をご紹介させていただきます。

●2口以上のご協力も歓迎します。●大口のパトロンも募集中！

●500円からのカンパも大歓迎 ●少部数お求めの方は別途ご連絡ください。

会員になっていたい方はお近くの郵便局から下記までご入金ください。入金確認次第、会員登録させていただきます。名前、住所、電話番号のご記入を正確にお願いします。

【振込先】千住竜田郵便局 00140-4-103836（町雑誌千住編集室）

会員になってくださった皆様ありがとうございます

青柿浩一郎	あやめ寿司 本店	足立都市活性化センター	足立友鼓会	石原 捷恵	大河内 渉
大野 康子	奥乃丸伸之	上木 恵子	紙谷 衛	栗田田鶴子	佐藤 真澄
塩島 莊爾	清水 正雄	千住本氷川神社	田島 利夫	虎谷 恭子	日本経済新聞 千住専売所
長尾 尚志	長田 英治	野田 征子	福井 英泰	北條 隆司	堀内 延浩
緑町町会有志	宮田 昭明	宮元 瞳	よしだや	お好焼美和	酒のモトハラ
若林登紀子	渡辺 益男	誌面の関係上心意気会員の皆さんだけ掲載させていただきます (敬称略)			

カンパをしてくださった皆様ありがとうございます

町雑誌「千住」(季刊) 冬号 VOL2 1996年12月25日発行

発行 千住・町・元気・探険隊〒120足立区千住緑町2-33-23 TEL 03-3870-7055

編集 町雑誌千住編集室〒120 足立区千住元町14-18 TEL&FAX 03-5244-2158

(郵便振替口座) 00140-4-103836

編集人 大野順子 舟橋左斗子

STAFF 取材・原稿／いとうゆりこ 川上佳子 坂井美千代 田辺一枝

写真／柄澤明雄 後藤修身 小林武仁 館又将文 長野高志 松本康一

イラスト／遠藤杏子 高橋靖子 MAC協力／村田操

協力／大野清士 鯨井博 能勢千詠子 原島陽子 穂原恵子 山崎正樹

お願い！ その2 大募集



●スタッフを募集します！

経費も出ないボランティアスタッフですが、面白そう、と思う方、ご連絡ください。特に身軽に動いてもらえる人好きなスタッフを募集しています。▼取材にまわれる方▼写真を撮れる方▼MACを使える方、デザインを手伝っていただける方▼宛名書きなどのできる方▼配達できる方などなど…

●千住の面白いヒト、もの、こと、募集します！

●明治生まれの素敵な女性。特に恋愛経験を話してくださりそうな方。●千住の中の謎。不思議に思っていたこと、調べて欲しいこと。●古い千住の写真をお持ちの方、ぜひ紙面掲載用に貸してください。●その他なんでも、千住の情報教えてください。

●0号の秋の味覚プレゼントに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。千住のアキタヤグループ様のご協力により、厳正な抽選の結果、次の皆様に秋の味覚をお届けしました。

青木義雄 荒川英明 石川昌一 片山典子 加藤新助
坂入栄次郎 桜井三枝子 寺尾幸次 宮本順子 山崎
笑子 (50音順・敬称略)

次号は千住の食いどころ・飲みどころ

PART1 安くておいしいものが揃っているのが千住のいいトコ。数え上げればきりがないけど、皆さんの声を集めてます、PART1の食べ歩き編。お楽しみに！

●町雑誌千住はここで買えます！

●千住曙町／居酒屋地味ー ●千住旭町／アサヒ書店 梅乃湯 スナックオレンジ 喜田家ルミネ店 太洋堂書店 弁天湯 松栄鮓 とんかつもりき よしだや ●千住東町／カド・サン 横田青果店 ヘーサロンノヒラ ●柳原／松の湯 ●日ノ出町 ●千住一丁目／和泉屋本店 焼かつつくし 喫茶蔵 鈴重精肉店
椿屋 日の出屋 前田クリーニング店 山本園 養生堂鍼灸整骨院 ●千住二丁目／おいもやさん 柏屋
紅茶とケーキセビア 千住の永見 ぶくらんど ブックスくまくら 洋品ハセ 秋田料理まさき ジーンズマルオカ 三河屋 ●千住三丁目／珈琲物語 千代の湯 メンズギャラリー福田 ふくとみ 渡辺優文堂 ●千住四丁目／酒の花栗屋 ●千住五丁目／梅の湯 ●千住大川町／新橋湯 沼田商店 ホシノ理容室
山口書店 お好み焼美和 ●千住寿町／小料理いろは 大黒湯 ●千住元町／佐原浴泉タカラ湯 モカ ●千住
桜木町／渋谷歯科医院 ●千住柳町／キッチンアントレ 一富士 一柳 金乃湯 ニコニコ湯 ●千住竜田
町／アリス 大戸屋食堂 喜田家本店 大衆割烹ばめ とけいや 富井煎餅 肉の平川屋 インテリア
ホシノ工芸 ●千住中居町／北嶋書店 喫茶コロちゃん コロラド ●千住宮元町／旭湯 居酒屋せきね 高原
書店 ●千住仲町／魚三商店 小桜湯 まじ満 ●千住河原町／不動産のカサマ 千寿泉 梅月湯 ●千住橋
戸町／甲斐書店 仁寿堂薬局 ●千住緑町／丸安青果店／サロン・ド・ドゥル ●千住外／喜田家花畠店 喜
田家五反野店 喜田家竹の塚店 喜田家梅島店

●この他にもあります。お問い合わせください。

●町雑誌千住を置いてくださるお店を募集します！

ご協力いただけるお店はご連絡ください。

●誌面でご紹介させていただいた方々、銭湯ご経営の皆さん、ご協力ありがとうございました！ その他にも多くの皆さんのお力を借りました。

●写真・情報提供に、ご協力ありがとうございました！

石井規雄 尾澤善造 座間彦造 田島敏雄 東京都公衆浴場業環境衛生同業組合
平岡徳朗 町田忍 (有)睦和商事 森和子 (50音順・敬称略)

参考文献 1010 (東京都公衆浴場業環境衛生同業組合) 江戸の風呂 (新潮選書) 銭湯へ行こう (TOTO出版) 銭湯へ行こう、旅情編 (TOTO出版) 銭湯MAP (TOTO出版) 東京銭湯マップ (東京都公衆浴場業環境衛生同業組合) 入浴・銭湯の歴史 (雄山閣BOOKS) 「入浴」はだかの風俗史 (講談社カルチャーブックス) 値段史年表 (朝日新聞社) 風呂と人間 (メヂカルフレンド社) 風呂屋の富士山 (ファラオ企画) 風呂のはなし (鹿島出版会)

千住・町・元気・探険隊は現在「足立区まちづくりトラスト」からご支援をいただいている

千住の銭湯をせんじく制覇！

まえもまわ
クイズアリ!

湯名 A 制覇 年月日

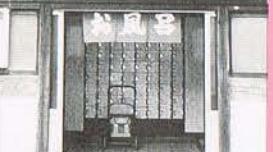


湯名 D 制覇 年月日



H番湯号名

年制覇
月
日



湯名 K 制覇 年月日



湯名 N 制覇 年月日



湯号名

B 制覇

年月

日

千住の銭湯は19軒。さてど
れがどの銭湯かわかるかな?

これを機会にクイズの答えを探しながら19軒の湯巡りしてみない? 近場で温泉巡りの旅気分満喫できること間違いなし。ストレス解消、プラス運かせぎに行こう! 2~3ページもあるわせて見ればもっと楽しいよ!さらにハガキに書いて送ってくれたら、全問正解者にもれなくケロリン湯桶のミニチュアキーホルダー

をプレゼントするよ! ふる
って応募してね! 【応募者多数の場合は賞品が変わる場合があります】

〒120足立区千住元町14-18
町雑誌千住編集室「いへ湯の
ケロリン」プレゼント係

【応募方法】19問のクイズの答
え(A=①など)と銭湯巡りを
した感想、町雑誌千住の感想
を書いて応募してください。
住所氏名年齢職業電話番号を
忘れずに! 【締切】97年4
月30日

湯名 C 制覇 年月日



湯名 E 制覇 年月日



湯名 F 制覇 年月日



湯名 I 制覇 年月日



湯名 L 制覇 年月日



湯名 P 制覇 年月日



湯名 R 制覇 年月日



番湯名

年制覇
月
日



番湯名

年制覇
月
日



湯名 M 制覇 年月日



湯名 Q 制覇 年月日



湯名 S 制覇 年月日

- ①…旭湯 ②…梅の湯 ③…梅乃湯 ④…金乃湯 ⑤…小桜湯
⑥…佐原浴泉 ⑦…新橋湯 ⑧…千寿泉 ⑨…大黒湯
⑩…タカラ湯 ⑪…千代の湯 ⑫…帝国湯 ⑬…ニコニコ湯
⑭…梅月湯 ⑮…弁天湯 ⑯…松の湯 ⑰…緑湯
⑲…美登利湯 ⑳…大和湯 50音順

よく似たところが多いので、よく観察してね!